

アンサンブルコンテスト県北大会に係る新型コロナウイルス感染防止マニュアル

- ◎ 本大会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、「第49回福島県アンサンブルコンテストガイドライン」及び、とうほう・みんなの文化センターの「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」を基に開催しますので、下記の点について厳守してください。
- 健康状態把握や感染症発症時の対応のため、次の必要書類の作成・集約・提出等を行う。
 - 参加者が児童・生徒の場合、参加者は当該団体責任者へ参加承諾書を提出する。
 - 参加者（入館するすべての部員及び団員、引率者、楽器運搬補助員）は、2週間前から健康観察表を作成し、参加団体責任者に提出する。一般団体の参加者は、福島県在住者に限る。
 - 参加団体責任者は、参加者名簿（氏名、住所、連絡先）を作成し、名簿順に並べた健康観察表と共に、事業当日に主催者に提出する。
 - 鑑賞者（出演者の保護者または近親者で県内在住の者、2名まで）も、2週間前から健康観察表を作成し、連絡先や座った座席番号等を記入した「鑑賞者用整理券」と共に、事業当日に主催者へ提出する。なお、演奏後の出演者が鑑賞する場合も同様とする。
 - 各団体の責任者（部顧問）は、団体長（校長）に対し主催団体から配付される感染防止マニュアルなどを提示し、万一来場前に備え、主催者名、連絡先などを伝える。
 - 開催日以前、2週間以内に発熱症状がある団員（部員）がいた場合、団体長（校長）に参加についての可否の判断を仰ぎ、また、その旨を主催者（福島県吹奏楽連盟県北支部事務局）へ報告する。
 - バスで移動する場合、車内の密環境を避けるよう努める。保護者や家族による送迎が可能な場合は、それも選択肢の一つとする。
 - 会場への移動前に参加者の検温や体調を確認し、発熱等の症状がある者がいた場合、当該団体は参加を見合わせる。また、来場後に発熱などの急な体調変化が生じた場合も、参加を取りやめ速やかに退館すること。児童生徒の引率者は、事前に参加申込書に記載された学校関係者に限る。
 - 楽器運搬については、次のように留意する。
 - 楽器ケース置き場（2階会議室兼展示室）への入場は、必要最小限の人数にする。
 - 打楽器の搬出入は、自団体で行う。（打楽器搬出入のため、出演者以外の運搬補助員を10名まで認める。）
 - 使用する楽器及びメンテナンス用品、チューナーなどの貸し借りは行わない。
 - 入館者は、演奏場面以外でのマスク着用等「咳エチケット」「手洗い・手指消毒」を徹底する。また「三つの密」にならないよう、社会的距離の確保（利用者同士が手の届く範囲に長時間集まらないよう）を徹底すること。尚、マスクや手袋は各自準備すること。
 - アンサンブルコンテスト参加前後は、感染防止のため適切な行動を取ること。
 - 会場（とうほう・みんなの文化センター）において、ロビーや休憩所・喫煙所では、対人距離を確保（最低1mを目安）にした上で使用する。キッズルームは使用できない。
 - 出演者（運搬補助員を含む）とそれ以外の部員（団員）の動線を分け、他団体との接触も最小限にするため、鑑賞は自団体の楽器片付け終了後30分程度までとする。
 - 鑑賞者及び演奏後の出演者は、それぞれ指定された場所で鑑賞し、座席番号を「鑑賞者用整理券」に記入し、各自使用した座席の消毒を行ってから退席する。
 - いす・譜面台は、会場および支部のものを使用する。ステージで演奏終了後のいす、譜面台の消毒は主催者に行うが、つば処理については、各団体で吸水シート（ペットシート等）を準備する。